

V 試験研究発表題名

平成 27 年度 試験研究発表題名一覧

1. 今矢明宏、吉永秀一郎、田中永晴、池田重人、三浦覚、高橋正通、金子真司. 全国データによる林野土壌の分類の土壌型における化学性の範囲. 日本土壌肥料学会年次大会講演要旨集、61：93
2. MIURA Satoru (三浦覚)、UGAWA Shin (鵜川信・鹿児島大)、YOSHINAGA Shuichiro (吉永秀一郎)、YAMADA Tsuyoshi (山田毅)、HIRAI Keizo (平井敬三). Floor cover percentage determines splash erosion in *Chamaecyparis obtusa* forests (ヒノキ林の雨滴飛散侵食を決定づける林床被覆率). *Soil Science Society of America Journal*, 79 (6) : 1782-1791
3. 家原敏郎. 研究成果の「橋渡し」. 森林総合研究所関西支所研究情報、117：1
4. 家原敏郎. スギ・ヒノキ高齢林の成長 - 収穫試験地等固定試験地の成長経過から. 平成 27 年度森林・林業交流研究発表会、特別発表、5
5. 家原敏郎. ナラ枯れに関する研究. 森林総合研究所百十年のあゆみ：194-195
6. 家原敏郎、西園朋広、齋藤英樹、田中真哉、小谷英司、北原文章、高橋與明. リモートセンシングと地上観測による林分構造の広域的評価手法の開発. 研究成果第 558 集「気候変動に対応した循環型食料生産等の確立のためのプロジェクト - 森林及び林業分野における温暖化対策 - - 地球温暖化が森林及び林業分野に与える影響評価と適応技術の開発 -」、農林水産省農林水産技術会議事務局：24-28
7. 家原敏郎. スギ・ヒノキ高齢林の成長 - 収穫試験地等固定試験地の成長経過から. 平成 27 年度森林・林業交流研究発表収録：179-183
8. 鳥居厚志. 竹のものがたり. 石見銀山の松竹梅 (石見銀山の景観を考える会編著、29pp)：10-14
9. 鳥居厚志. 竹の質問へのこたえ. 「石見銀山の松竹梅」副読本 質問のこたえ (石見銀山の景観を考える会編著、42pp)：9-18
10. 鳥居厚志. 森のなか、シカが多すぎて… - 平成二十六年度 森林総合研究所関西支所公開講演会記録 -. 山林、1572：41-46
11. 鳥居厚志. マイナーな特用林産物の動向と地域研究. 森林総合研究所関西支所研究情報、116：1
12. 鳥居厚志. 竹検定「初級」問題. 京都竹カフェ第 3 回竹検定「初級」問題：1-9
13. 鳥居厚志. 竹検定「初級」解答と解説. 京都竹カフェ第 3 回竹検定「初級」解答と解説：1-9
14. 鳥居厚志. 拡大竹林の駆除と植生誘導技術開発に向けて. 竹林景観ネットワーク 研究集会講演要旨集、17：5
15. 鳥居厚志. 現代的な里山維持システム構築のための実証研究. 森林総合研究所百十年のあゆみ：190-194
16. 佐々木達也、上村巧、伊藤崇之、吉田智佳史、中澤昌彦、鳥居厚志. 帯状伐採跡地のモウソウチクの再生量. 日本森林学会大会学術講演集、127：P2-046
17. 鳥居厚志. 竹に関する普及広報活動. 日本森林学会大会学術講演集、127：S9-8
18. 細田育広、澤野真治、玉井幸治. CMIP3・CMIP5 マルチモデルデータを用いた竜ノ口山南谷における気候変動に伴う水流出の長期変動の推定. 水文・水資源学会 2015 年度研究発表会要旨集：164-165
19. 細田育広. 気候変動と森林流域の水流出. 季刊森林総研、30：6-7
20. 細田育広. 基盤事業：森林水文モニタリング - 竜ノ口山森林理水試験地 -. 森林総合研究所関西支所年報、56：35

21. 細田育広. 伏見桃山のマダケ林における土壌水分変動. 日本森林学会大会学術講演集, 127 : 277 (P2-196)
22. 高橋裕史, 松浦友紀子, 伊吾田宏正 (酪農学園大). ニホンジカ低密度実現・維持に向けた課題: 捕獲とモニタリングを中心に. 哺乳類科学, 55 (1) : 73-74
23. 池田敬 (東京農工大), 高橋裕史, 伊吾田宏正 (酪農学園大), 松浦友紀子, 東谷宗光 (酪農学園大), 丸智明 (酪農学園大), 吉田剛司 (酪農学園大), 梶光一 (東京農工大). 目標密度達成へのモニタリング手法の開発. 哺乳類科学, 55 (1) : 73
24. 梶光一 (東京農工大), 高橋裕史, 吉田剛司 (酪農学園大), 伊吾田宏正 (酪農学園大), 松浦友紀子, 池田敬 (東京農工大), 日野貴文 (酪農学園大), 東谷宗光 (酪農学園大). 洞爺湖中島ニホンジカ個体群からの知見 1. 体サイズと生活史特性の変化. 哺乳類科学, 55 (1) : 79
25. 久保麦野 (東京大), 吉田剛司 (酪農学園大), 伊吾田宏正 (酪農学園大), 高橋裕史, 石崎真理 (東京農工大), 三ツ矢綾子 (東京農工大), 竹下和貴 (東京農工大), 池田敬 (東京農工大), 梶光一 (東京農工大). 歯の磨耗速度と歯牙形態の変化. 哺乳類科学, 55 (1) : 79
26. TAKAHASHI Hiroshi (高橋裕史), MIYOSHI Iwao (三好岩夫・京都府大), FUKAMACHI Katsue (深町加津枝・京都大), OKU Hirokazu (奥敬一・富山大). A problem of sika deer in Arashiyama : a perspective of millennial landscapes in Kyoto (嵐山におけるシカ問題: 古都京都における千年来の風致景観のゆくえ). IWMC2015 ABSTRACTS, International Wildlife Management Congress, 5 : 321-322
27. TAKESHITA Kazutaka (竹下和貴・東京農工大), ISHIZAKI Mari (石崎真理・東京農工大), MITSUYA Ryoko (三ツ矢綾子・東京農工大), TAKAHASHI Hiroshi (高橋裕史), YOSHIDA Tsuyoshi (吉田剛司・酪農学園大), IGOTA Hiromasa (伊吾田宏正・酪農学園大), IKEDA Takashi (池田敬・東京農工大), KUBO O. Mugino (久保麦野・東京大), KAJI Koichi (梶光一・東京農工大). Temporal changes in molar wear rate and survival pattern of sika deer population under the density dependent food limitation (密度依存的な餌資源制限下におけるニホンジカの臼歯摩滅速度と生存パターンの時間的な変化). IWMC2015 ABSTRACTS, International Wildlife Management Congress, 5 : 294
28. IKEDA Takashi (池田敬・東京農工大), TAKAHASHI Hiroshi (高橋裕史), IGOTA Hiromasa (伊吾田宏正・酪農学園大), MATSUURA Yukiko (松浦友紀子), AZUMAYA Munemitsu (東谷宗光・酪農学園大), YOSHIDA Tsuyoshi (吉田剛司・酪農学園大), TAKESHITA Kazutaka (竹下和貴・東京農工大), KAJI Koichi (梶光一・東京農工大). Change in activity pattern of sika deer before, during, and after culling operation (ニホンジカ密度操作過程における活動パターンの変化). IWMC2015 ABSTRACTS, International Wildlife Management Congress, 5 : 317-318
29. IKEDA Takashi (池田敬・北海道大), MATSUURA Yukiko (松浦友紀子), TAKAHASHI Hiroshi (高橋裕史), YOSHIDA Tsuyoshi (吉田剛司・酪農学園大), KAJI Koichi (梶光一・東京農工大). Estimating Density of Sika Deer Population from Random Encounter Model Using Camera-Trap Survey (カメラトラップを用いたシカ密度推定法). IWMC2015 ABSTRACTS, International Wildlife Management Congress, 5 : 317-318
30. NODA Chie (野田千愛・岐阜大), MATSUURA Yukiko (松浦友紀子), IGOTA Hiromasa (伊吾田宏正・酪農学園大), KAJI Koichi (梶光一・東京農工大), YOSHIDA Tsuyoshi (吉田剛司・酪農学園大), TAKAHASHI Hiroshi (高橋裕史), ASANO Makoto (浅野玄・岐阜大), SUZUKI Masatsugu (鈴木正嗣・岐阜大). Characterization of Sarcocystis in an Isolated Population of Hokkaido Sika Deer (*Cervus nippon yesoensis*) on Nakanoshima Island (北海道洞爺湖中島シカ個体群で発見された住肉胞子虫の特徴). IWMC2015 ABSTRACTS, International Wildlife Management Congress, 5 : 353
31. 大井徹 (石川県立大), 岡輝樹, 大西尚樹, 石橋靖幸, 高橋裕史, 島田卓哉, 鈴木祥悟, 山田文雄, 小泉透. 森林総合研究所が収集したツキノワグマ *Ursus thibetanus* の頭骨標本リスト. 森林総合研究所研究報告, 14 (3) : 159-192

32. TAKESHITA Kazutaka (竹下和貴・東京農工大)、ISHIZAKI Mari (石崎真理・東京農工大)、MITSUYA Ryoko (三ツ矢綾子・東京農工大)、TAKAHASHI Hiroshi (高橋裕史)、YOSHIDA Tsuyoshi (吉田剛司・酪農学園大)、IGOTA Hiromasa (伊吾田宏正・酪農学園大)、IKEDA Takashi (池田敬・東京農工大)、KUBO O. Mugino (久保麦野・東京大)、KAJI Koichi (梶光一・東京農工大). Temporal changes in molar wear rate of a sika deer population under density-dependent food limitation (密度依存的な餌資源制限下におけるニホンジカの臼歯摩滅速度の時間的な変化). *Journal of Zoology*, DOI : 10.1111/jzo.12258, 297 (2) : 139-145
33. IKEDA Takashi (池田敬・東京農工大)、TAKAHASHI Hiroshi (高橋裕史)、YOSHIDA Tsuyoshi (吉田剛司・酪農学園大)、IGOTA Hiromasa (伊吾田宏正・酪農学園大)、MATSUURA Yukiko (松浦友紀子)、TAKESHITA Kazutaka (竹下和貴・東京農工大)、KAJI Koichi (梶光一・東京農工大). Seasonal variation of activity pattern in sika deer (*Cervus nippon*) as assessed by camera trap survey (カメラトラップを用いて査定されたニホンジカ活動パターンの季節変化). *Mammal Study*, 40 (4) : 199-205
34. 高橋裕史. ニホンジカ生息密度低減に向けて、さらに柔軟な体制を. *森林総合研究所関西支所研究情報*, 119 : 1
35. MORI Akira (森章・横浜国大)、OTA T. Aino (太田藍乃・横浜国大)、FUJII Saori (藤井佐織・横浜国大)、SEINO Tatsuyuki (清野達之・筑波大)、KABEYA Daisuke (壁谷大介)、OKAMOTO Tohru (岡本透)、ITO Masamichi T. (伊藤雅道・駿河台大)、KANEKO Nobuhiro (金子信博・横浜国大)、HASEGAWA Motohiro (長谷川元洋). Concordance and discordance between taxonomic and functional homogenization : responses of soil mite assemblages to forest conversion (分類と機能の均一化の間的一致と不一致 : 森林の転換に対する土壌ダニ群集の反応). *Oecologia*, DOI : 10.1007/s00442-015-3342-2, 179 : 527-535
36. 岡本透. 森の土の色にまつわる色々な話 第1回 連載にあたって. *森林総合研究所関西支所研究情報*, 116 : 4
37. 岡本透. 江戸時代以降の内間木洞周辺の植生・土地利用に関する資料について. 第2回「カルストと鍾乳石の科学」研究会講演要旨集 : 9
38. 石塚成宏、大曾根陽子 (森林総研 PD)、酒井寿夫、酒井佳美、岡本透、溝口岳男、田中永晴、金子真司. 土壌と堆積有機物の炭素・窒素量機器分析の注意点. *日本土壌肥料学会年次大会講演要旨集*, 61 : 23
39. 伊藤優子、今矢明宏、岡本透、吉永秀一郎. 山地小流域の多点調査による20年間の土壌化学性変化. *日本土壌肥料学会年次大会講演要旨集*, 61 : 93
40. 岡本透. 火山噴火が森にもたらすもの～2014年御嶽山の場合～. 平成27年度森林総合研究所関西支所公開講演会要旨集 : 2
41. 池田重人、志知幸治、岡本透、林竜馬 (琵琶湖博物館). 秋田天然スギ林地帯における完新世後期のスギの消長. *日本花粉学会大会講演要旨集*, 56 : 40
42. 岡本透. 石筍と歴史資料から紐解く秋吉台の植生変化. *山口ケイビングクラブ洞窟講演会講演要旨集*, 22 : 9-10
43. 池田重人、志知幸治、岡本透、林竜馬 (琵琶湖博物館). 鳥海山桑ノ木台湿原の花粉分析に基づく晩氷期以降の植生変遷. *日本植生史学会大会講演要旨集*, 30 : 72
44. 岡本透. 基盤事業 : 森林流域の水質モニタリング. *森林総合研究所関西支所年報*, 56 : 36
45. 岡本透. 森の土の色にまつわる色々な話 第4回 黒い土. *森林総合研究所関西支所研究情報*, 119 : 4
46. 池田重人、志知幸治、岡本透、篠宮佳樹. 白神山地田苗代湿原の花粉分析からみた周辺植生の変遷. *日本森林学会大会学術講演集*, 127 : P2-147
47. 志知幸治、池田重人、岡本透、林竜馬 (琵琶湖博物館). 秋田県沿岸地域における過去1万年間のスギ林変遷. *日本森林学会大会学術講演集*, 127 : 286 (P2-231)

48. 岡本透、伊藤優子. 御嶽山 2014 年噴火の渓流水と降水への影響. 日本森林学会大会学術講演集、127:283 (P2-217)
49. 稲垣善之、野口享太郎、宮本和樹、奥田史郎、野口麻穂子、伊藤武治. 間伐がヒノキ葉の窒素濃度および炭素・窒素安定同位体比に及ぼす影響. 日本地球惑星科学連合 2015 年大会予稿集: MIS26-27
50. 稲垣善之、宮本和樹、伊藤武治、北原文章、酒井寿夫、奥田史郎、野口麻穂子、光田靖 (宮崎大). 高知県のヒノキ人工林における樹冠葉量の推定. 森林応用研究、24 (2): 11-18
51. 奥田史郎、諏訪鍊平、中尾勝洋、山下直子、池田則男 (近中局森技セ). 中国地方の一貫作業によるヒノキ再造林地の植栽苗木と雑草木の競合状態. 日本森林学会大会学術講演集、127: P2-072
52. 大原偉樹、諏訪鍊平、濱口昌敏 (和歌山森林管理署)、下ノ上文和 (和歌山森林管理署)、河合敏宏 (和歌山森林管理署)、森前富士也 (和歌山森林管理署)、古賀崇晃 (和歌山森林管理署)、中田茂巳 (三重森林管理署). コウヤマキ植物群落保護林 (近畿中国森林管理局) の林分構造と更新状況 - 高野山開創 1200 年によせて -. 応用森林学会研究発表要旨集、66: 35
53. 高橋和規. 低密度植栽による人工林の育成 - 広島森林管理署新元重山試験地の事例 -. 森林総合研究所関西支所研究情報、116: 2-3
54. 高橋和規. 低密度植栽による人工林の育成試験 - 広島森林管理署新元重山試験地の事例 -. 応用森林学会研究発表要旨集、66: 31
55. 高橋和規、Garret D. Ruiz (UPLB). トウダイグサ科オオバギの形態変異と繁殖特性 - ルソン島中部と北部個体群の比較 -. 日本植物分類学会大会研究発表要旨集、15: 36
56. 山下直子. 枯れない苗木づくりを目指して. 森林総合研究所関西支所研究情報、117: 3
57. 山下直子、諏訪鍊平、奥田史郎、Lei Thomas (龍谷大)、飛田博順、小笠真由美、矢崎健一、北尾光俊、宇都木玄、梶本卓也. 葉量の調整で活着率を高められるか? ヒノキ苗における摘葉効果の検証. 革新的技術緊急展開事業 (うち産学の英知を結集した革新的な技術体系の確立) 「コンテナ苗を活用した低コスト再造林技術の実証研究」総括セミナー、発表番号 27
58. Lei Thomas (龍谷大)、西川尚貴 (龍谷大)、山下直子. Park pruning prompts a competitive reversal of an exotic tree, *Ligustrum lucidum*, in urban forest of Japan (都市緑地における人為的管理が、逆に外来種トウネズミモチの競争力を高めた). *Urban Ecosystems*、DOI 10.1007/s11252-016-0539-z
59. 飛田博順、小笠真由美、山下直子、Thomas Ting Lei (龍谷大)、諏訪鍊平、奥田史郎、矢崎健一、北尾光俊、宇都木玄、梶本卓也. ヒノキコンテナ苗の葉の水分状態および木部水分通導に対する摘葉の効果. 日本森林学会大会学術講演集、127: P2-067
60. 山下直子、飛田博順、Lei Thomas (龍谷大)、小笠真由美、諏訪鍊平、奥田史郎、矢崎健一、北尾光俊、宇都木玄、梶本卓也. 異なる摘葉処理をしたヒノキコンテナ苗における葉の乾燥耐性と生理的応答. 日本森林学会大会学術講演集、127: 246 (P2-068)
61. 飛田博順、原山尚徳、小笠真由美、矢崎健一、北尾光俊、上村章、諏訪鍊平、山下直子、奥田史郎、壁谷大介、山田健、宇都木玄、梶本卓也. スギ・ヒノキコンテナ苗の根の電解質漏出率. 関東森林学会大会講演要旨集、5: 55 (発表番号)
62. 澤田義人 (東京大生産技術研)、諏訪鍊平、神藤恵史 (東京大生産技術研)、遠藤貴宏 (東京大生産技術研)、沖一雄 (東京大生産技術研)、沢田治雄、ARAI Egidio (INPE)、SHIMABUKURO Edemir Yosio (INPE)、CELES Henrique Carlos (INPA)、CAMPOS Alberto Assis Moacir (INPA)、HIGUCHI Francisco (INPA)、LIMA Jose Nogueira Adriano (INPA)、HIGUCHI Niro (INPA)、梶本卓也、石塚森吉. A new 500-m resolution map of canopy height for Amazon forest using spaceborne LiDAR and cloud-free MODIS imagery (アマゾン熱帯林における雲除去済み MODIS 画像および衛星 LiDAR を用いた 500m 分解能の新しい樹高マップ). *International Journal of Applied Earth Observation and Geoinformation*、43: 92-101

63. 諏訪錬平. ヒノキコンテナ苗の通年植栽の検証. 革新的技術緊急展開事業 (うち産学の英知を結集した革新的な技術体系の確立)「コンテナ苗を活用した低コスト再造林技術の実証研究」総括セミナー: 発表番号 25
64. 飛田博順、原山尚徳、小笠真由美、矢崎健一、北尾光俊、上村章、諏訪錬平、山下直子、奥田史郎、壁谷大介、落合幸仁 (住友林業)、山田健、宇都木玄、梶本卓也. スギ・ヒノキコンテナ苗の根の電解質漏出率. 関東森林研究、67 (1): 105-108
65. 諏訪錬平、山下直子、奥田史郎. 植栽適期の検討. コンテナ苗を活用した主伐・再造林技術の新たな展開、森林総合研究所発行小冊子、第3期中期計画成果 37 (森林・林業再生 -10): 18-19
66. TSUDA Yoshiaki (津田吉晃・ウブサラ大、森林総研森林遺伝 PD)、NAKAO Katsuhiko (中尾勝洋)、IDE Yuji (井出雄二・東京大)、TSUMURA Yoshihiko (津村義彦・筑波大). The population demography of *Betula maximowicziana*, a cool temperate tree species in Japan, in relation to the last glacial period: Its admixture-like genetic structure is the result of simple population splitting not admixing (最終氷期との関連に着目したウダイカンバの個体群統計: 種内の遺伝構造は、個体群の交流ではなく分断の結果である). *Molecular Ecology*、24 (7): 1403-1418
67. 松井哲哉、田中信行、中尾勝洋、小出大 (国立環境研)、埜田宏 (元森林総研). 種苗用樹木分布図. 地図でわかる樹木の種苗移動ガイドライン (文一総合出版、津村義彦・陶山佳久_編著、176 頁): 25-34
68. 松井哲哉、中尾勝洋、津山幾太郎、比嘉基紀 (高知大)、大丸裕武、小南裕志、大橋春香 (森林総研 PD)、安田正次 (日林協)、中園悦子 (東京大)、小出大 (国立環境研)、田中信行. 気候変動が天然林の潜在生育域に与える影響の評価と温暖化適応策. 不動産学会誌、29 (1): 52-58
69. 津山幾太郎、中尾勝洋、松井哲哉、田中信行. 気候変動と針葉樹の分布. 北海道の林木育種、58 (1): 7-12
70. KORAI Hideaki (高麗秀昭)、WATANABE Ken (渡辺憲)、NAKAO Katsuhiko (中尾勝洋)、MATSUI Testuya (松井哲哉)、HAYASHI Tomoyuki (林知行・秋田県立大). Mapping of strength reduction of particleboard subjected to various climatic conditions using a climate deterioration index (気象劣化指標を用いた様々な気象条件化に屋外暴露したパーティクルボードの強度低下の地図化). *European Journal of Wood and Wood Products*、73 (6): 807-817
71. KOIDE Dai (小出大・国立環境研)、HIGA Motoki (比嘉基紀・高知大)、NAKAO Katsuhiko (中尾勝洋)、OHASHI Haruka (大橋春香・森林総研 PD)、TSUYAMA Ikutaro (津山幾太郎)、MATSUI Tetsuya (松井哲哉)、TANAKA Nobuyuki (田中信行). Projecting spatiotemporal changes in suitable climate conditions to regenerate trees using niche differences between adult and juvenile trees (ブナにおける稚樹と親木のハビタットの違いに基づく更新適域の時空間変動予測). *European Journal of Forest Research*、135 (1): 125-136
72. 松浦俊也、中尾勝洋、佐野真琴 (佐野真)、キョウ浩 (筑波大). UAV-SfM による新植地の樹高計測. 日本生態学会大会講演要旨集、63: P2-162
73. 松井哲哉、中尾勝洋、中村克典、大橋春香 (森林総研 PD)、田中信行. 温暖化シナリオによるマツ材線虫病被害リスク地図化の試み. 日本森林学会大会学術講演集、127: 268
74. 中尾勝洋、松浦俊也、正木隆、太田敬之、佐野真琴 (佐野真)、キョウ浩 (筑波大院). ドローン空撮による皆伐跡地の植生高及び被覆の計測. 日本森林学会大会学術講演集、127: 264
75. 小出大 (国立環境研)、比嘉基紀 (高知大)、中尾勝洋、大橋春香 (森林総研 PD)、津山幾太郎、松井哲哉、田中信行. ブナにおける稚樹と親木のハビタットの違いに基づく更新適域の時空間変動予測. 日本生態学会大会講演要旨集、63: F1-09
76. 高梨聡、檀浦正子 (京都大)、中野隆志 (山梨県富士山科学研)、小南裕志、深山貴文. 二酸化炭素安定同位体比連続観測による冷温帯針葉樹林における炭素循環の推定. 日本地球惑星科学連合 2015 年大会予稿集、ACG30-P01

77. 譚正洪 (中国科学院)、于贵瑞 (中国科学院)、周国逸 (中国科学院)、韩士杰 (中国科学院)、夏禹九 (东华大)、前田高尚 (産業技術総研)、小杉緑子 (京都大)、山野井克己、李胜功 (中国科学院)、太田岳史 (名古屋大)、平田竜一 (国立環境研)、安田幸生、中野隆志 (山梨県)、小南裕志、北村兼三、溝口康子、廖志勇 (中国科学院)、赵俊福 (中国科学院)、杨廉雁 (中国科学院). 亚洲东部森林的小气候特征: 1. 辐射和能量的平衡 (Microclimate of forests across East Asia biomes: 1. Radiation and energy balance) (東アジアの植物群集の森林微気象特性 1: 放射とエネルギーバランス). 植物生态学报 (Chinese Journal of Plant Ecology) (中国植物生態誌)、39 (6): 541-553
78. OHASHI Haruka (大橋春香・森林総研 PD)、KOMINAMI Yuji (小南裕志)、HIGA Motoki (比嘉基紀・高知大)、KOIDE Dai (小出大・国立環境研)、NAKAO Katsuhiko (中尾勝洋)、TSUYAMA Ikurato (津山幾太郎)、HANASAKI Naota (花崎直太・国立環境研)、HIJIOKA Yasuaki (脇岡靖明・国立環境研)、TAKAHASHI Kiyoshi (高橋潔・国立環境研)、MATSUI Tetsuya (松井哲哉)、TANAKA Nobuyuki (田中信行). Combined effect of land use and climate change may accelerate range expansion of Sika deer in Japan (土地利用と気候変動が日本のシカの分布拡大を加速するかもしれない). International Wildlife Management Congress、5: 803
79. KOMATSU Masabumi (小松雅史)、YOSHIMURA Kenichi (吉村謙一・森林総研 PD)、FUJII Saori (藤井佐織・横浜国立大)、YAZAKI Kenichi (矢崎健一)、TOBITA Hiroyuki (飛田博順)、MIZOGUCHI Yasuko (溝口康子)、MIYAMA Takafumi (深山貴文)、KOMINAMI Yuji (小南裕志)、YASUDA Yukio (安田幸生)、YAMANOI Katsumi (山野井克己)、KITAO Mitsutoshi (北尾光俊). Estimation of ozone concentrations above forests using atmospheric observations at urban air pollution monitoring stations (大気観測局の観測データを用いた森林上のオゾン濃度の推定). Journal of Agricultural Meteorology、71 (3): 202-210
80. 小南裕志. 土がささえる森の CO₂ 吸収. 平成 27 年度森林総合研究所関西支所公開講演会要旨集: 3
81. ICHII Kazuhito (市井和仁・海洋研究開発機構・国立環境研)、UEYAMA Masahito (植山雅仁・大阪府立大)、KONDO Masayuki (近藤雅征・海洋研究開発機構)、SAIGUSA Nobuko (三枝信子・国立環境研)、Ma. Carmelita Alberto (国際稲研究所・International Rice Research Institute)、KITAMURA Kenzo (北村兼三)、KOTANI Ayumi (小谷亜由美・名古屋大)、KOMINAMI Yuji (小南裕志)、MAEDA Takahisa (前田高尚・産業技術総研)、MIZOGUCHI Yasuko (溝口康子)、SHIMIZU Takanori (清水貴範)、YASUDA Yukio (安田幸生). UPSCALING TERRESTRIAL CO₂ FLUXES IN ASIA USING AN INTEGRATED DATABASE OF EDDY-COVARIANCE MEASUREMENTS (アジアにおける新たなフラックス観測、統合データセットを用いた陸域 CO₂ フラックスの広域化). PROCEEDINGS of Joint conference of the AsiaFlux Workshop 2015 and ISPRS TC WG VIII/3: 52
82. 小南裕志、吉村謙一 (森林総研 PD)、安宅未央子 (京都大農). 森林総合研究所関西支所山城試験地における水収支および炭素循環測定. 砂防学会誌、60 (4): 52-55
83. 小南裕志. 葉の一生を測る - 森林の炭素循環に果たす葉の役割 -. 森林総合研究所関西支所研究情報、118: 2-3
84. 義川滉太 (大阪府大)、植山雅仁 (大阪府大)、高木健太郎 (北海道大)、小南裕志. Continuous measurements of methane flux in two Japanese temperate forests based on the micrometeorological and chamber methods (二種の温帯広葉樹林におけるメタンフラックスの連続観測). Proceedings of AGU 2015 Fall Meeting: B13D-0645
85. ATAKA Mioko (安宅未央子・京都大農)、KOMINAMI Yuji (小南裕志)、YOSHIMURA Kenichi (吉村謙一・森林総研 PD)、SATO Kazutoshi (佐藤一敏・京都大農)、TANI Makoto (谷誠・京都大農). In situ seasonal hysteresis in litter heterotrophic respiration in a warm-temperate forest (暖温帯広葉樹林における落葉分解呼吸量の季節変動について). Proceedings of 5th International Symposium on soil organic matter、3: 2-07

86. ATAKA Mioko (安宅未央子・京都大農)、KOMINAMI, Yuji (小南裕志)、JOMURA Mayuko (上村真由子・日本大生物資源)、YOSHIMURA Kenichi (吉村謙一・森林総研PD)、MIYAMA, Takafumi (深山貴文)、KOSUGI Yoshiko (小杉緑子・京都大農)、TANI Makoto (谷誠・京都大農). CO₂ efflux from decomposing leaf litter stacks is influenced by the vertical distribution of leaf litter water content and its temporal variation (落葉の分解に伴うCO₂放出に落葉層の含水率とその時間変動が与える影響). *Journal of Agricultural Meteorology*, 71 (4) : 263-270
87. 高梨聡、檀浦正子 (京都大)、中野隆志 (山梨県富士山科学研)、小南裕志、深山貴文. 二酸化炭素安定同位体を用いた樹体内炭素動態の解明. 日本森林学会大会学術講演集、127 : F3
88. 山野井克己、溝口康子、安田幸生、深山貴文、高梨聡、宇都木玄、小南裕志、北村兼三、中野隆志 (山梨県富士山科学研). 長期モニタリングと群落微気象モデルによる森林群落炭素収支の変動予測. 研究成果第558集「気候変動に対応した循環型食料生産等の確立のためのプロジェクト - 森林及び林業分野における温暖化対策 - - 地球温暖化が森林及び林業分野に与える影響評価と適応技術の開発 -」、農林水産省農林水産技術会議事務局 : 58-64
89. 小南裕志、吉村謙一、飯田真一、竹内真一 (南九州大). HRM (Heat Ratio Method) 法を用いた樹液流速測定 - 原理および測定システムの構築 -. 日本森林学会大会学術講演集、127 : 81
90. 安宅未央子 (京都大農)、小南裕志、吉村謙一、深山貴文、谷誠 (京都大農). 暖温帯落葉広葉樹林の土壤炭素動態における落葉分解呼吸の機能. 日本森林学会大会学術講演集、127 : 107
91. 竹田有佑 (大阪市立大)、小南裕志、金澤洋一 (森林総研PD)、名波哲 (大阪市立大)、伊東明 (大阪市立大). 隣接するスギ・コナラ林の年輪安定同位体解析を用いた樹木成長と気候応答の樹種依存性評価. 日本森林学会大会学術講演集、127 : 265
92. 山本遼平 (京都大・地球環境)、檀浦正子 (京都大・地球環境)、小南裕志、吉村謙一 (森林総研PD). 自作型HRMの開発とそのナラ枯れ罹患木への適用. 日本生態学会大会講演要旨集、63 : P1-083
93. 孫麗娟 (京都大農)、小南裕志、安宅未央子 (京都大農)、吉村健一 (森林総研PD)、北山兼弘 (京都大農). Root exudates mediate N decomposition by shaping microbial growth (菌群集の成長に伴う根浸出物の発生と窒素吸収). 日本生態学会大会講演要旨集、63 : P1-417
94. 上村真由子 (日本大生物資源)、小南裕志. 粗大有機物分解研究における呼吸速度の扱い方. 日本生態学会大会講演要旨集、63 : P2-432
95. 義川滉太 (大阪府大)、植山雅仁 (大阪府大)、高木健太郎 (北海道大)、小南裕志. 微気象学的手法とチャンバー法による森林におけるメタンフラックスの連続観測. 日本農業気象学会 2016年全国大会講演要旨 : J-16
96. 溝口岳男. 森の土の色にまつわる色々な話 第2回 青い土. 森林総合研究所関西支所研究情報、117 : 4
97. NAGAKURA Junko (長倉淳子)、AKAMA Akio (赤間亮夫)、SHIGENAGA Hidetoshi (重永英年)、MIZOGUCHI Takeo (溝口岳男)、YAMANAKA Takashi (山中高史)、TANAKA-ODA Ayumi (田中(小田)あゆみ・森林総研PD)、TANGE Takeshi (丹下健・東京大). Changes in the carbon and nutrient status of *Cryptomeria japonica* needles and fine roots following 7 years of nitrogen addition (7年間窒素添加を受けたスギの葉と細根の炭素および養分状態の変化). *Plant Root*, DOI : 10.3117/plantroot.9.95
98. 伊藤嘉昭 (京都大)、福島整 (物質材料研)、山下満 (兵庫県立工業技術セ)、矢崎一史 (京都大)、杉山暁史 (京都大)、山下尚之、溝口岳男、谷川東子、平野恭弘 (名古屋大). スギ、ヒノキ混交林における土壌塩基養分の空間分布特性の解明. 生存圏ミッションシンポジウム、307、生存圏ミッション研究成果報告3.

99. TANIKAWA Toko (谷川東子)、HASHIMOTO Yohey (橋本洋平・東京農工大)、YAMASHITA Naoyuki (山下尚之)、NOGUUCHI Kyotaro (野口享太郎)、YOSHINAGA Shuichiro (吉永秀一郎)、TAKAHASHI Masamichi (高橋正通). Accumulation of sulfur compounds in Japanese volcanic soils (日本の火山灰土におけるイオウ化合物の蓄積). Japan Geoscience Union Meeting 2015 : M-IS03
100. 谷川東子. スギ、ヒノキ林の土壌-20年経つと、肥沃さはどう変わる? -. 森林総合研究所関西支所研究情報、117 : 2
101. MATSUDA Yosuke (松田陽介・三重大)、UESUGI Tenshi (上杉天志・三重大)、Chien-Fan Chen (台湾行政院)、Man Kyu Huh (東義大)、TANIKAWA Toko (谷川東子)、HASHIMOTO Yashushi (橋本靖・帯畜大)、YAGAME Takahiro (谷亀高広・国立科博植物園)、Marc-Andre Selosse (仏自然史博物館)、MURATA Masao (村田政穂・東京大)、NARA Kazuhide (奈良一秀・東京大). Mycorrhizal specificity of the partially mycoheterotrophic Ericaceae *Pyrola japonica* (Ericaceae) (部分的菌従属栄養性植物イチヤクソウ(ツツジ科)の菌根菌の特異性). 8th International Conference on Mycorrhiza (ICOM8) : 117
102. 谷川東子、平野恭弘(名古屋大)、山下満(兵庫県立工業技術セ)、福島整(物質材料研)、杉山暁史(京都大)、岡本透、伊藤嘉昭(京都大). カルシウムが蓄積されていないスギ林土壌の化学性. 日本土壌肥科学会年次大会講演要旨集、61 : 12
103. Li Guo (College of Global Change and Earth System Science, Beijing Normal University)、Yuan Wu (State Key Laboratory of Earth Surface Processes and Resource Ecology, Beijing Normal University)、Jin Chen (College of Global Change and Earth System Science, Beijing Normal University)、Yasuhiro Hirano (名古屋大)、TANIKAWA Toko (谷川東子)、Wentao Li (State Key Laboratory of Earth Surface Processes and Resource Ecology, Beijing Normal University)、Xihong Cui (State Key Laboratory of Earth Surface Processes and Resource Ecology, Beijing Normal University). Calibrating the impact of root orientation on root quantification using ground-penetrating radar (地中レーダを用いた根の定量法における根の方向性の補正法). Plant and Soil, 395 : 289-305
104. MIYATANI Kouhei (名古屋大)、MIZUSAWA Yuki (名古屋大)、OKADA Kazuki (名古屋大)、TANIKAWA Toko (谷川東子)、MAKITA Naoki (牧田直樹・森林総研PD)、Yasuhiro Hirano (名古屋大). Fine root traits in *Chamaecyparis obtusa* forest soils with different acid buffering capacities (酸緩衝能の異なる土壌に成立するヒノキ林における細根特性). Trees、DOI : 10.1007/s00468-015-1291-3
105. SASE Hiroyuki (佐瀬裕之・アジア大気汚染研究セ)、TAKAHASHI Masamichi (高橋正通)、MATSUDA Kazuhide (松田和秀・東京農工大)、SATO Keiichi (佐藤啓一・アジア大気汚染研究セ)、TANIKAWA Toko (谷川東子)、YAMASHITA Naoyuki (山下尚之)、OHIZUMI Tsuyoshi (大泉毅・新潟県)、ISHIDA Takuya (石田卓也・名古屋大)、KAMISAKO Masato (上迫正人・新潟県)、KOBAYASHI Ryo (小林亮・株式会社NSS)、UCHIYAMA Shigeki (内山重輝・新潟県環境衛生研)、SAITO Tatsuyoshi (齋藤辰吉・アジア大気汚染研究セ)、MOROHASHI Masayuki (諸橋将雪・アジア大気汚染研究セ)、FUKUHARA Haruo (福原晴夫・新潟大)、KANEKO Shinji (金子真司)、INOUE Takanobu (井上隆信・豊橋技科大)、YAMADA Toshiro (山田俊郎・岐阜大)、TAKENAKA Chisato (竹中千里・名古屋大)、NAKANO Takanori (中野孝教・総合地球環境学研)、HAKAMATA Tomoyuki (袴田共之・浜松ホトニクス)、OHTA Seiichi (太田誠一・国際緑化推進セ). Long-term trend on stream water chemistry and sulfur budget in an acidified forested catchment in central Japan (中日本の酸性化した森林流域における渓流水質とイオウ負荷量の長期傾向). Acid Rain 2015 Proceedings : 9th International conference on Acid Deposition "Successes Archived and the Challenges Ahead" : 242
106. 平野恭弘(名古屋大)、山瀬敬太郎(兵庫県森林セ)、谷川東子、檀浦正子(京都大)、大橋瑞江(兵庫県立大)、藤堂千景(兵庫県森林セ)、池野英利(兵庫県立大). 減災の観点から樹木根系を非破壊的に推定する地中レーダ法の現状と課題. 日本緑化工学会誌、41 : 319-325

107. 山瀬敬太郎 (兵庫県森林林業技術セ)、谷川東子、池野英利 (兵庫県立大)、藤堂千景 (兵庫県森林林業技術セ)、大橋瑞江 (兵庫県立大)、檀浦正子 (京都大)、平野恭弘 (名古屋大). 異なる土壤環境下における根系構造と引き抜き抵抗力との関係. 日本緑化工学会誌, 41: 301-307
108. 藤堂千景 (兵庫県森林林業技術セ)、山瀬敬太郎 (兵庫県森林林業技術セ)、谷川東子、大橋瑞江 (兵庫県立大)、池野英利 (兵庫県立大)、檀浦正子 (京都大)、平野恭弘 (名古屋大). 間伐がスギの最大引き倒し抵抗モーメントにもたらす影響. 日本緑化工学会誌, 41: 308-314
109. 谷川東子. 森の土にまつわる色々な話 第3回 褐色の土. 森林総合研究所関西支所研究情報, 118: 4
110. 佐瀬裕之 (アジア大気汚染研究セ、以下 ACAP)、高橋正通、松田和秀 (東京農工大)、佐藤啓市 (ACAP)、谷川東子、山下尚之、大泉毅 (新潟県)、石田卓也 (総合地球環境学研)、上迫正人 (ACAP)、小林亮 (ACAP)、内山重輝 (ACAP)、齋藤辰善 (ACAP)、諸橋将雪 (ACAP)、福原晴夫 (新潟大)、金子真司、井上隆信 (豊橋技科大)、山田俊郎 (岐阜大)、竹中千里 (名古屋大)、陀安一郎 (総合地球環境学研)、中野孝教 (総合地球環境学研)、袴田共之 (浜松ホトニクス)、太田誠一 (JIFPRO). 伊自良湖集水域における河川化学性の長期トレンドと硫黄の流入・流出収支. 同位体環境学シンポジウムプログラム/要旨, 5: 33
111. 谷川東子. 放射光分析. 森林技術, 886: 32
112. 大橋瑞江 (兵庫県立大)、柿添哲也 (兵庫県立大)、池野英利 (兵庫県立大)、山瀬敬太郎 (兵庫県森林林業技術セ)、谷川東子、檀浦正子 (京都大)、藤堂千景 (兵庫県森林林業技術セ)、平野恭弘 (名古屋大). 同心円状レーダ探索による海岸に生育するクロマツ個体の水平根の広がり. 日本緑化工学会誌, 41: 385-390
113. 大橋瑞江 (兵庫県立大)、池野英利 (兵庫県立大)、柿添哲也 (兵庫県立大)、山瀬敬太郎 (兵庫県森林林業技術セ)、谷川東子、檀浦正子 (京都大)、藤堂千景 (兵庫県森林林業技術セ)、平野恭弘 (名古屋大). レーダを用いた樹木根系の非かく乱調査 - 海岸クロマツ個体の水平根の広がり -. 日本生態学会大会講演要旨集, 63: P2-389
114. 笠原暢 (横浜国大)、藤井佐織 (アムステルダム自由大)、谷川東子、森章 (横浜国立大環境情報). エゾシカによるリター分解過程への影響 - 樹種選好性および葉と根の違いを考慮して -. 日本生態学会大会講演要旨集, 63: P1-410
115. 高木勇輔 (横浜国立大理工)、藤井佐織 (アムステルダム自由大)、田和佑脩 (同志社大理工)、谷川東子、武田博清 (同志社大理工)、森章 (横浜国立大環境情報). 山火事が植物多様性 - リター分解の関係性にもたらす影響. 日本生態学会大会講演要旨集, 63: P1-413
116. 宮谷紘平 (名古屋大)、谷川東子、牧田直樹、平野恭弘 (名古屋大). ヒノキ細根系の呼吸速度の変動要因 - 東海地方7林分の調査より -. 日本森林学会大会学術講演集, 127: 93
117. 土居龍成 (名古屋大)、宮谷紘平 (名古屋大)、谷川東子、所千恵 (名古屋大)、平野恭弘 (名古屋大). ヒノキ細根の直径 2mm 以下に着目した次数別形態特性. 日本森林学会大会学術講演集, 127: 93
118. 藤堂千景 (兵庫県森林セ)、所千恵 (名古屋大)、谷川東子、山瀬敬太郎 (兵庫県森林林業技術セ)、池野英利 (兵庫県立大)、大橋瑞江 (兵庫県立大)、檀浦正子 (京都大)、平野恭弘 (名古屋大). 海岸クロマツ林における地中レーダ法を用いた根系推測と引き倒し抵抗力. 日本森林学会大会学術講演集, 127: 92
119. 谷川東子、橋本洋平 (東京農工大)、山口紀子 (農業環境技術研)、吉永秀一郎、高橋正通. Sulfur K-edge XANES 解析で見る土壌生成年代 21 ~ 1400 年の火山灰土に含まれるイオウ化合物の形態バリエーション. 日本森林学会大会学術講演集, 127: 285
120. 多田泰之. 森林と災害の変遷. 平成 27 年度森林総合研究所関西支所公開講演会要旨集: 4
121. 斎藤仁志 (信州大農)、白澤紘明 (信州大農)、戸田堅一郎 (長野県林業総合セ)、矢部浩 (鳥取県林業試)、白田寿生 (岐阜県森林研)、和田多友宏 (岐阜県森林研)、鈴木秀典、村上亘、多田泰之、大丸裕武. 高解像度 DTM を利用した崩壊危険地抽出手法の開発 - 路網計画支援を目的として -. 森林利用学会学術研究発表会講演要旨集, 22: 28

122. 大丸裕武、戸田堅一郎（長野県）、多田泰之. 治山分野における地形・地質学的知識の活用 - 歴史と現状 -. 防災科学技術研究所研究資料、405：121-124
123. 鈴木秀典、斎藤仁志（信州大農）、白澤紘明（信州大農）、戸田堅一郎（長野県林業総合セ）、多田泰之、大丸裕武、村上亘、古川邦明（岐阜県森林研究所）、白田寿生（岐阜県森林研）、和多田友宏（岐阜県森林研）、矢部浩（鳥取県林業試）、松澤義明（長野県林業コンサルタント協会）. 危険地を避けた路線選定プログラムの開発. 日本森林学会大会学術講演集、127：P2-036
124. 矢部浩（鳥取県林業試）、多田泰之、奥田慎二（株式会社拓和）、大丸裕武、村上亘、鈴木秀典、斎藤仁志（信州大農）、白澤紘明（信州大農）、戸田堅一郎（長野県林業総合セ）、古川邦明（岐阜県森林研）、白田寿生（岐阜県森林研）、和多田友宏（岐阜県森林研）、松澤義明（長野県林業コンサルタント協会）. 地下流水音探査装置による林道開設地内の水みちの推定. 日本森林学会大会学術講演集、127：237
125. 斎藤仁志（信州大農）、白澤紘明（信州大農）、戸田堅一郎（長野県林業総合セ）、白田寿生（岐阜県森林研）、和多田友宏（岐阜県森林研）、矢部浩（鳥取県林業試）、多田泰之、鈴木秀典、村上亘、大丸裕武. 森林内路網の崩壊被害調査票作成について. 日本森林学会大会学術講演集、127：237
126. 和多田友宏（岐阜県森林研）、古川邦明（岐阜県森林研）、白田寿生（岐阜県森林研）、大丸裕武、村上亘、多田泰之、鈴木秀典、斎藤仁志（信州大農）、白澤紘明（信州大農）、戸田堅一郎（長野県林業総合セ）、矢部浩（鳥取県林業試）、松澤義明（長野県林業コンサルタント協会）. 排水施設の状況と路肩崩壊の関係. 日本森林学会大会学術講演集、127：236
127. 戸田堅一郎（長野県林業総合セ）、大丸裕武、村上亘、多田泰之、鈴木秀典、斎藤仁志（信州大農）、白澤紘明（信州大農）、古川邦明（岐阜県森林研究所）、白田寿生（岐阜県森林研究所）、和多田友宏（岐阜県森林研究所）、矢部浩（鳥取県林業試）、松澤義明（長野県林業コンサルタント協会）. 地形判読を行いやすくする立体図（CS 立体図）の作製 - 地形規模に応じた色調の調整 -. 日本森林学会大会学術講演集、127：236
128. 大丸裕武、戸田堅一郎（長野県林業総合セ）、村上亘、多田泰之、鈴木秀典、斎藤仁志（信州大農）、白澤紘明（信州大農）、古川邦明（岐阜県森林研）、白田寿生（岐阜県森林研）、和多田友宏（岐阜県森林研）、矢部浩（鳥取県林業試）、松澤義明（長野県林業コンサルタント協会）. CS 立体図を自動に作成するソフトウェア（CSmapmaker）の開発. 日本森林学会大会学術講演集、127：237
129. 相川拓也、堀野眞一、市原優. ニホンジカ・カモシカ糞の簡易識別法の開発. 東北林業試験研究機関連絡協議会森林保全部会 最近の保護上の話題及び研究成果の予報等、2
130. AIKAWA Takuya（相川拓也）、HORINO Shin-ichi（堀野眞一）、ICHIHARA Yu（市原優）. A novel and rapid diagnostic method for discriminating between feces of sika deer and Japanese serow by loop-mediated isothermal amplification（LAMP 法を利用した斬新で迅速なニホンジカとカモシカの糞識別法）. *Mammalian Genome*、26：355-363
131. 相川拓也、中村克典、市原優、前原紀敏、水田展洋（宮城県）. 東日本大震災の津波被害により枯死したマツから脱出したマツノマダラカミキリの保持マツノザイセンチュウ数. 日本線虫学会大会、23：O-19
132. 相川拓也、堀野眞一、市原優. あっという間に識別します！ - ニホンジカ・カモシカ糞簡易識別法の開発 -. 森林総合研究所東北支所 *Forest Winds*、62
133. 市原優、升屋勇人. スギ黒点病菌の近畿地方における分布調査. 応用森林学会研究発表要旨集、66：19
134. 市原優. 森林生態系の中での樹木病原菌. 森林総合研究所関西支所研究情報、118：1
135. 相川拓也、堀野眞一、市原優. あっという間に識別します！ - ニホンジカ・カモシカ糞簡易識別法の開発 -. 季刊森林総研、32：16-17

136. 染谷汐織 (筑波大生物資源)、原若輝 (筑波大生物資源)、山路恵子 (筑波大生命環境系)、市原優. アカガシのナラ菌に対する抗菌物質. 日本生態学会大会講演要旨集、63 : P1-099
137. 市原優、大原偉樹、升屋勇人. コウヤマキ林における実生消失に関与する菌害. 日本森林学会大会学術講演集、127 : P1-217
138. 相川拓也、堀野眞一、市原優. LAMP 法を用いたニホンジカ・カモシカ糞簡易識別法. 日本森林学会大会学術講演集、127 : 226
139. 高畑義啓、秋庭満輝、升屋勇人、市原優、廣岡裕吏 (法政大)、壽田智久 (福島県)、山本茂弘 (静岡県)、矢田豊 (石川県)、阪上宏樹 (九州大)、窪野高德. 熊本県におけるスギ黒点病菌によるヒノキ花粉飛散抑制の可能性の検討. 九州森林研究、69 : 121-124
140. 深山貴文、高梨聡、吉藤奈津子、宮下俊一郎. アカマツ林床における α -ピネン放出の季節変動特性. 日本森林学会大会学術講演集、127 : 275
141. 服部力、太田祐子、宮下俊一郎. ヒノキ受傷樹幹に対する殺菌剤塗布の菌侵入阻止効果. 日本森林学会大会学術講演集、127 : 164
142. YOSHIMURA Mayumi (吉村真由美). Impact of a geological feature on stream benthic assemblage in the temperate forested region of Japan (地質による水生昆虫群集のちがいについて). *Fundamental and Applied Limnology*、186 (3) : 233-242
143. Jo-Fan Wang (Tunghai University)、Ming-Yu Chen (Tunghai University)、Shu-Miaw Chaw (Biodiversity Research Center, Academia Sinica)、Yuta Morii (森井悠太・東北大)、YOSHIMURA Mayumi (吉村真由美)、Teiji Sota (曾田貞滋・京都大)、Chung-Ping Lin (Tunghai University). Complete mitochondrial genome of an enigmatic dragonfly, *Epiophlebia superstes* (Odonata, Epiophlebiidae) (ムカシトンボのミトコンドリア DNA). *Mitochondrial DNA*、26 (5) : 718-719
144. 吉村真由美、赤間亮夫. 栃木県中禅寺湖流出河川における福島第一原発事故の放射性セシウム放出による水生昆虫等の汚染について. 日本陸水学会大会講演要旨集、80 : 114
145. 吉村真由美、赤間亮夫. 栃木県中禅寺湖周辺における福島第一原発事故の放射性物質放出による水生昆虫等への汚染について. 日本昆虫学会大会講演要旨集、75 : 56
146. YOSHIMURA Mayumi (吉村真由美). Stable isotope proxies for evaluating biodiversity in stream biota (溪流中の生き物の多様性評価のための安定同位体比を使った指標). *Ecological Indicators*、57 : 228-235
147. 吉村真由美. 福島第一原発事故における放射性セシウム放出による溪流性水生昆虫等への汚染について. 森林総合研究所関西支所研究情報、119 : 2
148. 吉村真由美、赤間亮夫. 中禅寺湖周辺河川における福島原発事故の放射性セシウム放出による水生昆虫等の汚染について. 日本生態学会大会講演要旨集、63 : I2-18
149. 東川航 (神戸大院農)、吉村真由美、八木剛 (人と自然の博物館)、前藤薫 (神戸大院農). 里山の希少種ミヤマアカネの幼虫による微小生息地利用の分子生態学的解明. 日本昆虫学会大会講演要旨集、76 : PS2003
150. 関伸一. ウグイス. *グリーン・エージ*、42 (4) : 34-35
151. 関伸一. 春のスイッチ. *BIRDER*、29 (4) : 68-69
152. 関伸一. 御鳥様の巣作り騒動記. *BIRDER*、29 (5) : 68-69
153. 関伸一. 極上のモーニング・ブレンド. *BIRDER*、29 (6) : 68-69

154. 関伸一. トビウオと台風とアカヒゲ. *BIRDER*, 29 (7) : 68-69
155. 関伸一. オジイのワガママ. *BIRDER*, 29 (8) : 68-69
156. 関伸一. 1 枚の写真から : トカラ列島のイイジマムシクイを追う. *BIRDER*, 29 (9) : 68-69
157. 関伸一. トカラ列島におけるイイジマムシクイの繁殖分布と営巣環境. 日本鳥学会 2015 年度大会講演要旨集 : 113
158. 関伸一. アカヒゲの全長が 14cm である件. *BIRDER*, 29 (10) : 68-69
159. 関伸一. 南への旅. *BIRDER*, 29 (11) : 68-69
160. 関伸一. 白砂のビーチとアカヒゲ. *BIRDER*, 29 (12) : 68-69
161. 関伸一. 晴れ男の憂鬱. *BIRDER*, 30 (1) : 68-69
162. 関伸一. 大正時代からのアカヒゲ便り. *BIRDER*, 30 (2) : 68-69
163. 関伸一. コマドリ. *グリーン・エージ*, 43 (2) : 30-31
164. 関伸一. 太陽と月とアカヒゲ. *BIRDER*, 30 (3) : 68-69
165. YAYOTA Chizuru (八代田千鶴)、KOIZUMI Toru (小泉透). Estimating energy contents of edible plants by sika deer in the warm-temperate forest in Izu Peninsula, Japan (伊豆半島の暖帯林におけるシカの可食部エネルギー含量). *IWMC2015 ABSTRACTS, International Wildlife Management Congress*, 5 : 302
166. YASUDA Masatoshi (安田雅俊)、YAYOTA Chizuru (八代田千鶴). Current status of a threatened population of Japanese serow (Bovidae, Cetartiodactyla) in Kyushu Island, Japan (九州における絶滅危惧のカモシカ個体群の現状について). *IWMC2015 ABSTRACTS, International Wildlife Management Congress*, 5 : 302
167. 奥村栄朗、藤井栄 (徳島県立農林水産総合技術支援セ)、森一生 (徳島県西部総合県民局)、八代田千鶴、金城芳典 (四国自然史科学研究セ). ニホンジカ集中捕獲を目指した人工林皆伐跡地の利用状況モニタリング. 応用森林学会研究発表要旨集, 66 : 21
168. 安田雅俊、八代田千鶴、坂田拓司 (熊本市立千原台高校)、栗原智昭 (MUZINA Press)、緒方俊輔 (高森町教育委員会). 自動撮影カメラによるカモシカの定点調査 : 熊本県高森町下切の事例. 熊本野生生物研究会誌, 8 : 15-17
169. 安田雅俊、八代田千鶴、栗原智昭 (MUZINA PRESS)、安田晶子 (日本野鳥の会)、安田樹生 (熊本野生生物研究会)、沼田真也 (首都大学東京). 電気伝導率からみた九州の環境水の特徴 - スイス、イタリア、マレーシアとの比較 -. 熊本野生生物研究会誌, 8 : 21-27
170. 八代田千鶴、小泉透. シカの餌付け誘引に及ぼす下層植生の影響. 「野生生物と社会」学会大会プログラム・講演要旨集, 21 : 110
171. 藤井栄 (徳島県立農林水産総合技術支援セ)、森一生 (徳島県西部総合県民局)、八代田千鶴、奥村栄朗. 伐採跡地におけるニホンジカ集中捕獲の試み. 「野生生物と社会」学会大会プログラム・講演要旨集, 21 : 119
172. 後藤将太 (高知大院理)、八代田千鶴、酒井敦、奥村栄朗、石川愼吾 (高知大理)、比嘉基紀 (高知大理). 高知県中土佐町島ノ川の小面積皆伐地周辺における給餌によるニホンジカの誘引特性～夏期と秋期の比較～. 土佐生物学会大会講演要旨集, 108 : 8-9

173. 八代田千鶴. 伊吹山のシカとカモシカのお話. 伊吹山大探検シリーズ 2、伊吹山を知るやさしい生きものの学の本: 46-51
174. 須藤明子 (株式会社イーグレット・オフィス)、八代田千鶴、安原輝 (滋賀県立大環境科). 伊吹山の生物多様性があぶない. 伊吹山大探検シリーズ 2、伊吹山を知るやさしい生きものの学の本: 55-57
175. 八代田千鶴、森元萌弥 (岐阜大)、中須真史 (宮川森林組合)、岡本宏之 (宮川森林組合)、鈴木正嗣 (岐阜大). 広葉樹植栽地での捕獲によるシカ出没頻度の低減効果. 日本森林学会大会学術講演集、127: T1-4
176. 後藤将太 (高知大院理)、八代田千鶴、酒井敦、奥村栄朗、石川慎吾 (高知大理)、比嘉基紀 (高知大理). 高知県中部の小面積皆伐地周辺における給餌によるニホンジカ誘引効果の季節変化. 日本森林学会大会学術講演集、127: P1-186
177. 奥村栄朗、藤井栄 (徳島県立農林水産総合技術支援セ)、森一生 (徳島県西部総合県民局)、八代田千鶴、金城芳典 (NPO 法人四国自然史科学研究セ). 人工林皆伐跡地におけるニホンジカ集中捕獲を目指した利用状況モニタリング. 日本森林学会大会学術講演集、127: 94
178. 大谷達也、藤井栄 (徳島県)、森一生 (徳島県)、八代田千鶴、宮本和樹、奥村栄朗、酒井敦. シカ捕獲でスギノキ苗木食害は軽減できるか - 徳島県つるぎ町での実証試験. 日本森林学会大会学術講演集、127: 95
179. 所雅彦、北島博、衣浦晴生、近藤洋史、後藤秀章、加賀谷悦子、栗生剛 (和歌山県林業試)、大谷栄徳 (和歌山県林業試)、岡田充弘 (長野県林業総合セ)、齊藤正一 (山形県森林研究研修セ)、山中武彦 (農業環境技術研)、吉濱健 (株式会社サンケイ化学). 「大量のおとり丸太でナラ枯れ対策」広葉樹資源の有効利用を目指したナラ枯れの低コスト防除技術の開発 (農林水産業・食品産業科学技術研究推進事業: 課題番号 24030). 平成 27 年版研究成果選集 2015、重点課題 G 森林の生物多様性の保全と評価・管理・利用技術の開発、G1 シカ等生物による被害軽減・共存技術の開発: 52-53
180. 衣浦晴生、所雅彦、後藤秀章. スダジイへのナラ枯れ予防殺菌剤注入によるナラ菌伸張抑制効果の検討 (II). 林業と薬剤、213: 1-6
181. 衣浦晴生、小南裕志、吉村謙一 (森林総研関西 PD)、山本遼平 (京都大院地球環境). カシノナガキクイムシ被害木の樹液流特性 - ナラ枯れ予防殺菌剤の影響 -. 樹木医学会大会講演要旨集、20: 28
182. (日本福祉大健康科)、谷口直紀 (日本福祉大健康科)、小堀英和 (日本樹木医学会愛知県支部)、衣浦晴生. 殺菌剤の高濃度少量予防注入によるカシノナガキクイムシ (*Platypus quercivorus*) の発生抑制効果 - 低濃度注入と比較して -. 樹木医学会大会講演要旨集、20: 9
183. 所雅彦、北島博、衣浦晴生、近藤洋史、後藤秀章、加賀谷悦子、栗生剛 (和歌山県林業試)、大谷栄徳 (和歌山県林業試)、岡田充弘 (長野県林業総合セ)、齊藤正一 (山形県森林研究研修セ)、山中武彦 (農業環境技術研)、吉濱健 (株式会社サンケイ化学). 広葉樹資源の有効利用を目指したナラ枯れの低コスト防除技術の開発 (農林水産業・食品産業科学技術研究推進事業: 課題番号 24030). アグリビジネス創出フェア 2015 オフィシャルガイドブック「農林水産業・食品産業科学技術研究推進事業研究成果発表会 2015」: 20
184. 衣浦晴生、小南裕志、吉村謙一 (森林総研関西 PD)、山本遼平 (京都大院地球環境). カシノナガキクイムシによるコナラ被害木の樹液流特性. 樹木医学研究、20 (1): 26-27
185. 衣浦晴生、法眼利幸 (和歌山県林試)、大谷栄徳 (和歌山県林業試)、竹内隆介 (和歌山県林業試)、所雅彦、猪野正明 (株式会社サンケイ化学). 薬剤樹幹注入したヒノキにおけるスギノアカネトラカミキリの生育. 日本森林学会大会学術講演集、127: P2-151
186. 長谷川絵里. いろいろな植物のてんぐ巣病. 森林総合研究所関西支所研究情報、119: 3
187. 長谷川絵里. サクラと病気. 季刊森林総研、32: 10-11

188. 長谷川絵里. サクラ系統へのサクラ類てんぐ巣病菌接種試験：接種 2 年目の経過. 日本森林学会大会学術講演要旨集、127：158 (P1-202)
189. 井上大成、松本和馬 (国際環境研究協会)、佐藤隆士 (兵庫県加西市)、後藤秀章、佐山勝彦、関剛、浦野忠久、濱口京子、松本剛史、佐藤重穂. 森林総合研究所本所・支所・試験地のチョウ類相とその変遷. 日本昆虫学会大会講演要旨、75：53
190. 後藤秀章、所雅彦、濱口京子. 屋久島におけるカシノナガキタイムシによるマテバシイ集団枯損の記録. 九州森林研究、69：47-52
191. 濱口京子. ハリナガムネボソアリ *Temnothorax spinosior* の女王の寿命について. 日本応用動物昆虫学会大会講演要旨集、76：154
192. KOTAKA Nobuhiko (小高信彦)、OSHIRO Katsuyoshi (大城勝吉・Yambaru Green)、NAKATA Katsushi (中田勝士・環境省やんばる野生生物保護セ)、YAMAMOTO Ichihito (山本以智人・環境省やんばる野生生物保護セ)、TAKASHIMA Atsushi (高嶋淳史・琉球大農与那フィールド)、SAITO Kazuhiko (齋藤和彦)、JOGAHARA Takamichi (城ヶ原貴通・岡山理科大)、YAMADA Fumio (山田文雄). Current Status Of The Critically Endangered Okinawa Spiny Rat In Okinawa Island, Japan (沖縄島に固有の絶滅危惧種オキナワトゲネズミの現状). IWMC2015 ABSTRACTS、International Wildlife Management Congress、5：847
193. 齋藤和彦. 書評 公益社団法人沖縄県緑化推進委員会編『沖縄県緑化運動 65 年史』. 林業経済、68 (4)：29-32
194. 齋藤和彦、親川栄 (親川司法書士事務所)、宮城邦昌 (在那覇奥郷友会)、上原賢次 (沖縄勤労者山の会). 大正 10 年測図 5 万分 1 地形図で見た国頭村の地域景観. 平成 26 年度亜熱帯森林・林業研究会 研究発表論文集：1-6
195. 齋藤和彦、親川栄 (親川司法書士事務所)、宮城邦昌 (奥の猪垣研究会)、上原賢次 (沖縄勤労者山の会). 沖縄県国頭村の山の道とその活用. 平成 27 年度亜熱帯森林・林業研究会定期総会・研究発表会：14
196. 宮城邦昌 (元在那覇奥郷友会長)、島田隆久 (元奥区長)、齋藤和彦. 巻頭付録 奥の地名図. シークワサーの知恵 奥・やんばるの「コトバ-暮らし-生きもの環」(大西正幸・宮城邦昌_編著、京都大学学術出版会、500 頁)：i- ii
197. 齋藤和彦. 第 6 章 近代沖縄の継承された近世琉球の造林技術-国頭村字奥で見つかった『造林台帳』の分析. シークワサーの知恵 奥・やんばるの「コトバ-暮らし-生きもの環」(大西正幸・宮城邦昌_編著、京都大学学術出版会、500 頁)：213-239
198. 田中邦宏、齋藤和彦、近口貞介、橋山真司. 固定試験地による近畿 (紀州) 地方スギ林林分収穫表の検証. 応用森林学会研究発表要旨集、66：13
199. 田中邦宏、齋藤和彦、近口貞介、橋山真司. 篠谷山スギ収穫試験地 (鳥取県日野郡江府町) 定期調査報告-山陰地方におけるスギ人工林の成長について-. 森林総合研究所関西支所年報、56：37-39
200. 田中邦宏、齋藤和彦、近口貞介、橋山真司. 近畿地方スギ林における固定試験地での調査結果と林分収穫表の比較. 日本森林学会大会学術講演集、127：231
201. 松本光朗、光田靖 (宮崎大)、外崎真理雄、鹿又秀聡、岡野通明、嶋瀬拓也、近藤洋史、田中邦宏. 統合モデルの開発と将来予測に基づく温暖化施策のベストミックスの提案. 研究成果第 558 集「気候変動に対応した循環型食料生産等の確立のためのプロジェクト-森林及び林業分野における温暖化対策--地球温暖化が森林及び林業分野に与える影響評価と適応技術の開発-」、農林水産省農林水産技術会議事務局：50-57
202. TANAKA Shinya (田中真哉)、NISHIZONO Tomohiro (西園朋広)、SAITO Hideki (齋藤英樹)、KODANI Eiji (小谷英司)、KITAHARA Fumiaki (北原文章)、TAKAHASHI Tomoaki (高橋與明)、IEHARA Toshiro (家原敏郎). Mapping Forest Cover Types of Japan to Evaluate the Carbon Stocks Using Landsat Satellite Images (ランドサット衛星画像を用いた炭素蓄積評価のための日本の森林タイプのマッピング). Utilizing Forests under Climate Change：37

203. 小谷英司、西園朋広、田中真哉. 航空機レーザー計測と人工衛星画像による森林材積推定手法の開発. 写真測量学会平成 27 年度年次学術講演会発表論文集：17-18
204. 田中真哉、佐野真琴. 空中写真と GIS を利用した広葉樹林の被覆変化に関する解析. 関東森林研究、66 (2)：65-68
205. 高橋興明、田中真哉. 簡易空中写真からの立木密度情報の抽出の可能性 - ヒノキ人工林での事例 -. 森林総合研究所九州支所年報、27：23
206. 高橋正義、細田和男、西園朋広、鷹尾元、齋藤英樹、田中真哉. 間伐がカラマツ林分の成長と枯死に与える影響 - 長期モニタリングデータを用いた解析 -. 関東森林学会大会講演要旨集、5：25
207. 細田和男、西園朋広、高橋正義、鷹尾元、田中真哉. 小型のデジタルステレオカメラによる胸高直径や樹間距離の測定精度. 関東森林学会大会講演要旨集、5：22
208. 小谷英司、鷹尾元、田中真哉、細田和夫、西園朋広、古家直行、北原文章、家原敏郎. 高密度と低密度の航空機 LiDAR データによるスギ材積推定手法の比較分析. 日本森林学会大会学術講演集、127：203
209. 細田和男、西園朋広、高橋正義、齋藤英樹、鷹尾元、田中真哉. 小型のデジタルステレオカメラによる胸高直径や樹間距離の測定精度. 関東森林研究、67 (1)：155-156
210. KOMATSU Masabumi (小松雅史)、YOSHIMURA Kenichi (吉村謙一・森林総研関西 PD)、FUJII Saori (藤井佐織・横浜国立大)、YAZAKI Kenichi (矢崎健一)、TOBITA Hiroyuki (飛田博順)、MIZOGUCHI Yasuko (溝口康子)、MIYAMA Takafumi (深山貴文)、KOMINAMI Yuji (小南裕志)、YASUDA Yukio (安田幸生)、YAMANOI Katsumi (山野井克己)、KITAO Mitsutoshi (北尾光俊). Estimation of ozone concentrations above forests using atmospheric observations at urban air pollution monitoring stations (大気観測局の観測データを用いた森林上のオゾン濃度の推定). *Journal of Agricultural Meteorology*, 71 (3)：202-210
211. 檀浦正子 (京都大)、田中千晴 (京都大)、高梨聡、竹内美由紀 (東京大)、安宅未央子 (京都大)、吉村謙一 (森林総研関西 PD)、小南裕志、Priault Pierrick (Universite de Lorraine Ecologie et Ecophysologie Forestieres). コナラにおける葉内炭素動態 -13C パルスラベリングと NanoSIMS を用いて -. 日本森林学会大会学術講演集、127：P1-159
212. 甲野裕理 (京都大生態研)、才木真太郎 (京都大生態研)、吉村謙一 (森林総研関西 PD)、白井誠 (日本大生物資源)、木村芙久 (日本大生物資源)、丸山温 (日本大生物資源)、松山泰 (北里大)、矢崎健一、中野隆志 (山梨県環境科学研)、相川真一 (首都大東京)、石田厚 (京都大生態研). 乾燥による樹木枯死の水分欠損仮説と糖制限仮説の検証. 日本生態学会大会講演要旨集、63：P1-074
213. 才木真太郎 (京都大生態研)、吉村謙一 (森林総研関西 PD)、矢崎健一、石田厚 (京都大生態研). 炭素と通水と呼吸のストレスに関係した乾燥による樹木枯死の新しい生理メカニズム. 日本生態学会大会講演要旨集、63：P1-308
214. 吉村謙一 (森林総研関西 PD)、小南裕志、安宅未央子 (京都大農)、深山貴文. 常緑樹ソゴにおける葉群光合成と幹呼吸の時系列変動とその連関性. 日本森林学会大会学術講演集、127：263
215. 吉村謙一 (森林総研関西 PD)、山本遼平 (京都大地球環境)、安宅未央子 (京都大農)、小南裕志、衣浦晴生. 健全木とナラ枯れ進行木における落葉後のコナラ生理活性の変化 - 一生から死に向かっている生理的レジームシフト. 日本生態学会大会講演要旨集、63：P2-092
216. MAKITA Naoki (森林総研関西 PD)、HIRANO Yasuhiro (名古屋大)、SUGIMOTO Takanobu (神戸大)、TANIKAWA Toko (谷川東子)、ISHII Hiroaki (神戸大). Intraspecific variation in fine root respiration and morphology in response to in situ soil nitrogen fertility in a 100-year-old *Chamaecyparis obtusa* forest (ヒノキ林における細根呼吸と形態特性). *Oecologia*, 179：959-967, DOI：10.1007/s00442-015-3413-4

217. MATSUURA Yojiro (松浦陽次郎)、ONO Kenji (小野賢二)、NOGUCHI Kyotaro (野口享太郎)、FUJII Kazumichi (藤井一至)、MAKITA Naoki (牧田直樹・森林総研関西 PD)、MORISHITA Tomoaki (森下智陽)、TORIYAMA Jumpei (鳥山淳平). Comparative study on forest soil properties among circumpolar regions (周極域の森林土壌特性に関する地域間比較研究). Arctic Observing Summit, 15-18 March 2016, Fairbanks, Alaska : T5-33